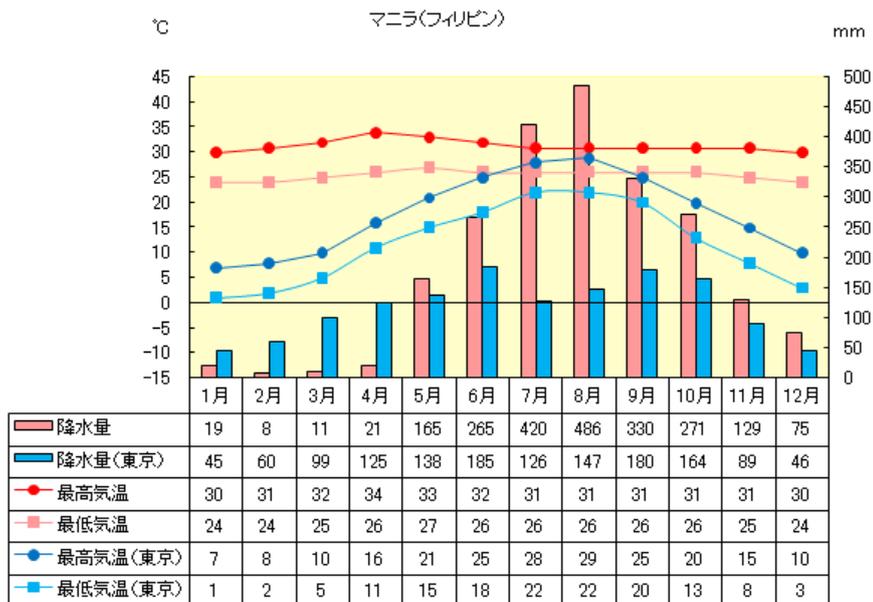


フィリピン留学ガイドブック

I. フィリピン国概要

- 国名 フィリピン共和国
- 渡航時間 約 4 時間 30 分(日本からの直行便)
- 時差 日本 - 1 時間
- 人口 約 8,857 万人
- 面積 299,404 平方キロメートル / 7,109 の島が存在
- 公用語 英語、フィリピン語
- 首都 マニラ
- 宗教 カトリック 83%、その他キリスト教 10%、イスラム教 5%、他 2%
- 通貨 フィリピン・ペソ(1 ペソ=2 円強~3 円弱)
- 気候 熱帯性気候。年間平均気温は 26~27°C
 雨季:6~11 月、乾季:12~5 月 ※地域により異なります



II. ご渡航前の準備

《航空券》

留学期間に合わせて、クラーク空港もしくはマニラ空港行の航空券をご予約ください。空港へは当校スタッフもしくは提携ドライバーがお迎えにあがります。3日~1週間、3ヶ月、6ヶ月、1年など有効期間別のチケットがあり、料金も異なります。また、帰国日の変更が可能な OPEN チケット、変更不可の FIX チケットがありますが、延長の可能性がある方は OPEN チケットのご用意をお薦め致します。フィリピンは往復チケットもしくはフィリピンからの出国チケット(日本以外の国でも可)をお持ちでないと入国できませんので、必ずご用意ください。

日本からはマニラへの直行便をご利用いただくか、他国を経由するフライトでクラーク空港までいらしてください。どちらの空港へも当校のスタッフがお迎えにあがります。

航空券を手配されましたら到着日時と便名をお知らせください。当校にて確認のうえ、現地空港でのピックアップに関するご案内を差し上げます。

《海外旅行保険》

現地でのトラブルに備え、海外旅行保険への加入をお薦めします。クレジットカードに付帯している保険でも構いませんが、カード会社によって保険の適用条件が異なりますので(持って行くだけで適用されるもの、現地でカードを利用しなければ適用されないもの等)ご渡航前に補償内容や規約等をご確認ください。新規に滞在期間のみの保険をお申込になる場合は、現地にてキャッシュレスで治療などを受けることができる保険をお薦めします。

トラブル時のサポートは日本人スタッフを中心にできる限りのサポートを致しますが、現地での医療費や個人の過失による滞在施設備品の損壊への補償にかかる費用につきましては、生徒様にてお支払いいただきます。

なお、保険の内容についてお悩みの際には営業担当までお気軽にご相談ください。

Ⅲ. ビザについて

日本人は事前にビザ申請をする必要なしにフィリピンに入国することが可能です。その後、現地にて申込が必要なビザは全て当校が代理申請致します。日本国籍の方の場合、30日間までの滞在はビザが不要ですが、31日以上のご滞在にはビザの延長が必要です。当校への留学期間の前後にもフィリピンへ滞在される場合はお申し出ください。

また、旅行会社等で航空券を購入される際に、予めビザを取得する必要があると言われるケースがございますが、現地到着後にビザ延長の手続きを行えば問題ございません。しかしながら、旅行会社によっては予定留学期間での航空券販売に難色を示される場合がございます、旅行会社より説明を求められた場合はお気軽に当校までご連絡ください。責任を持って対応いたします。

フィリピンへは旅行で渡航する際と同様にノービザ(観光ビザ)で入国してください。観光ビザでの入国者が就学や長期滞在するために必要な申請を当校にて行います。**入国審査時に入国目的を「留学」としてしましますと留学ビザが必要となってしまいますので、必ず「観光」の欄にチェックを入れてください。**なお、パスポートの残存有効期間は、「滞在期間+6ヶ月間」が必要ですので予めご確認をお願い致します。

Ⅳ. 出発当日～到着まで

《出発準備》

飛行機の出発時刻の2時間前までに空港に到着し、出国手続きを行ってください。空港への特急列車やリムジンバス等をご利用の場合は事前に予約をしておかれますと安心です。

機内への持ち込みおよび預けることができる荷物のサイズや重量は航空会社により異なりますのでご注意ください。なお、液体物の持ち込みには厳しい制限がございます。

持ち込みが禁止されているものについてはこちらをご参照ください。

http://www.narita-airport.jp/jp/security/master_sheet/index.html

《出国手続》

航空機への搭乗前には様々な手続きが必要です。出国手続の完了後でも搭乗ゲートまでかなり離れている場合がございますので、これらを考慮して早めに行動しましょう。また、ピーク時は混雑により予想以上の時間がかかりますので注意してください。

- ① 空港に到着したらまずチェックイン(搭乗手続)を行います。自分の利用する航空会社の受付窓口へ移動し、手続を行います。
- ② スーツケースなどの機内に預ける荷物はチェックイン時にカウンターに預け(X線検査あり)、手荷物引換証を受け取ります。席まで持ち込む荷物はそのままと持ちください。
- ③ チェックイン後、出国審査の前にセキュリティチェックを受けます。セキュリティチェックとは、ハイジャック防止などのために、機内席まで持ち込む荷物のチェックと、ボディチェックを受けることです。
- ④ 時計、貴金属等の高価な貴金属や、規定以上の高額現金、規制品等を持ち込む場合にはこの税関カウンターで申告を行います。
- ⑤ 出国審査カウンターに進み、パスポートと搭乗券の2点を提示して審査を受けます。
- ⑥ 全ての搭乗手続きを終えたら、搭乗ゲートに移動します。搭乗券に記載の搭乗ゲート番号やフライトナンバーで確認し、目的のゲートに移動します。ゲートによってはシャトルバスを利用します。
- ⑦ 搭乗時間になったら、係員の案内に従って登場開始します。搭乗券を提示し、確認を受けて飛行機に乗り込んでください。

V. 現地生活について

《交通手段》

クラークフィリピン留学院の校舎および生徒様滞在施設は街の中心部に位置しているため、日常生活において交通機関を利用することはほとんどありません。しかしながら、週末や祝日に観光等の目的で市外にお出かけになる際には交通手段を利用する必要があります。

フィリピンではバス、ジプニー(乗り合いバス)、トライシクル(サイドカー付きバイク)などが一般的な交通手段です。現地での生活や地理に慣れるまではできるだけ徒歩で移動され、徐々に交通機関を使うことをお勧めいたします。ジプニーの支払方法、トライシクルの価格交渉や相場、高速バスのご利用方法については当校スタッフにお気軽にお問い合わせください。

《電話・インターネット》

日本もしくは現地の携帯電話、もしくはスカイプ等のインターネット電話からのご利用が便利です。スマートフォンをお持ちでしたら、フリーでWiFiをご利用いただける場所が数多くございますので、日本よりも便利にお使いいただけます。日本の携帯を使って電話回線をお使いになると通話料が高くなりますので、スカイプ等のインターネット電話をお勧めします。

また、当校では無料通話付きの携帯電話を安価にてご提供しており、こちらも生徒様からはご好評いただいております。

インターネットに関しましては、無線を受信可能なノートパソコンやタブレットをお持ちでしたらWiFiを利用することができ、非常に便利です。なお、天候や滞在いただくお部屋により回線のスピードが大きく異なります。空いてるお部屋がございましたら移動していただくなど、できるかぎりの対応はさせていただきますが、日本のように常時高速接続が可能な環境ではない旨、予めご了承ください。

《電化製品の利用》

日本の電圧が 100V であるのに対して、フィリピンの電圧は 220V です。パソコンやデジタルカメラ、携帯電話の充電器は変圧器なしでもそのままご利用いただけますが、ヘアドライヤーやアイロンは変圧器がないとご利用いただけません。ドライヤーに関しましては、対応する変圧器を日本で購入すると数万円かかるのに対して、現地で購入すれば 2,000 円前後ですので、荷物の重さや金銭的な面から考えて現地購入の方がお得です。ヘアアイロンは海外兼用のタイプが 3,000 円程度から日本でも購入可能です。変圧器の不要なコードレスタイプのものをお薦めします。

VI. 金銭トラブル・盗難にあったら

《現地で盗難にあったら》

クラークは非常に治安の良い地域ですが、トラブルが無いとは言い切れません。被害にあったら、被害を受けた場所の最寄りの警察署へ被害届を提出してください。学校の近くの警察署ではなく、被害地域を管轄している警察署に届け出ます。英語でのやり取りに自信の無い方は、当校スタッフが同行致します。フィリピンでの盗難や紛失で持ち物が戻ってくる可能性は低いので、狙われないためにも隙を見せないよう注意しましょう。

《金銭トラブルに巻き込まれたら》

個人間の金の貸し借りは自己判断となります。生徒および現地の外国人との間に発生したいかなる金銭トラブルにも当校は責任を取りませんのでご注意ください。

《現地生活での注意事項》

- ・特に校外では貴重品から目を離さず、常に身の回りに置くようにする。
- ・レジでの会計などの際に、財布の中身を見られないようにする。お金は分けて管理し、大金を持ち歩かないようにする。
- ・ひと気のない場所の一人歩きは避ける。
- ・夜間の交通機関はできるだけ複数で利用する。
- ・他人からもらったものを口にしない。

VII. 持ち物リスト

入校、学習に必要なもの		必須
パスポート	必ず有効期間を確認し、大切に保管してください。万が一紛失場合に備え、コピーもご用意ください。	★
航空券	往復もしくはフィリピン出国のチケットをお持ちでないと入国できません。紛失に備えてコピーの用意をお薦めします。	★
証明写真	5cm × 5cm の証明写真をご用意願います。現地での SSP (Special Study Permit) 取得や、ビザの延長に必要です。ビザ延長の回数次第では複数枚が必要となりますが、大半の生徒様は 1 枚で手続き可能です。	

	写真は背景が白(青も不可)で、眼鏡や帽子は着けずに撮ったもののみ有効です。パスポートの写真が眼鏡着用であっても、外しての撮影をお願いします。ご到着後に学校近くのショッピングモールにて撮影することもできます。	
お金、クレジットカード	現地到着後に日本よりも有利なレートにて両替可能ですので、事前にまとまった額の外貨を用意される必要はありません。現地にはクレジットカードがご利用いただけない店舗、使うべきではない店舗も多く存在しておりますので、お持ちになった日本円を適宜両替されることをお勧めします。現地では送迎費、教材代、光熱費、週末の飲食代等の支払が発生しますので、現金はある程度の余裕を持ってご留学ください。	★
海外旅行保険証書	海外旅行保険にご加入の際は忘れずにお持ちください。	
ピックアップ案内	別途案内差し上げる現地空港でのピックアップ案内をお持ちください。	★
辞書、電子辞書	電子辞書は持ち運びに便利で、素早く調べられるので便利です。授業中の使用では英英辞典の機能が便利です。	★
録音機器	講義を録音し、繰り返し聞くことでリスニングの練習にもなります。日本から持参されることをお勧めします。スマートフォンでも代用可能です。	
パソコン	無線機能付きのものをご持参ください。ライティングの授業でもご利用いただけます。	
参考書	フィリピンでは日本語で書かれた参考書が手に入りません。必要に応じて、日本で使っていた文法や会話などの参考書をお持ちください。英語のものでしたらご持参の教材で講義を受けることも可能です。	
筆記用具	品質は落ちますが現地にて安価に購入可能です。	

生活に必要なもの、あると便利なもの		必須
衣類	日本の初夏～夏をイメージしてご用意ください。動きやすいもの、乾きやすいものが便利です。当校には洗濯サービスがありますが、ドライクリーニングなどはありませんので高価な服はお持ちにならない方がいいと思います。また、現地の建物はエアコンが強く効いていることが多く、また時期によっては朝夕も涼しくなりますので厚手の長袖もご持参ください。Tシャツなどは現地で安く購入できます。	★
水着	週末の旅行、施設のプール等をご利用の際に必要です。	
下着・靴下・タオル	下着を洗濯に出さず部屋干しされる場合は乾きやすい素材のものがお勧めです。お部屋にバスタオルはございますが、フェイスタオルはご用意しておりませんので、必要な方はお持ちになるかご到着後にお買い上げになることをお勧めします。お部屋は土足ですので、浴室から出たときのバスマット代わりに不要な古いタオルを1枚お持ちになると便利です。	★
スリッパ	お部屋は土足ですので気になる方はご持参ください。	
履物	スニーカーやサンダルなど、履きなれた歩きやすいものが良いです。ビーチサンダル等は現地でも安く購入できます。	★
メガネ・コンタクトレンズ	コンタクトレンズの洗浄・保存液も含め、余裕をもってご用意ください。	★

サングラス・帽子	日差しが強いのでサングラスや帽子のご持参をお勧めします。	
常備薬	風邪薬、下痢止め、胃薬、頭痛薬など普段から飲みなれているものをご持参ください。	
生活必需品	シャンプー、リンス、石鹸、歯磨き粉、歯ブラシなどの消耗品はご用意していません(トイレトーパーも当初備え付けられているものを使用後はご購入願います)。シャンプー等は少量だけ準備して足りない分を現地購入される方が多いです。	★
化粧品類	肌の弱い方は日焼け止めもご用意ください。	★
時計	目覚まし時計、腕時計等	
虫よけ	虫よけスプレー、かゆみ止め等	
カメラ	充電器もお忘れないうちにお気を付け下さい。	
ドライヤー	海外旅行用のもの以外は変圧器が必要ですが、変圧器の購入よりも現地製品の購入をお勧めします。	
物干しロープ	手洗い・部屋干ししたいものがある場合はご用意ください。	
耳栓	民家で飼っているニワトリの鳴き声が早朝から聞こえます。また、深夜まで大音量でカラオケをする家も多く、持参をお勧めします。	
マスク	当校は交通量の多い幹線道路に面しております。気にされる方、呼吸器系の弱い方は外出時にご利用ください。	
生理用品	日本製の方が高品質ですが、現地でも購入できます。	
栓抜き、ナイフ、缶切り等	お部屋で飲酒される方は栓抜き、果物等を召し上がる方はナイフをお持ちになると現地で購入する必要がございません。刃物は機内に持ち込むことができませんのでご注意ください。	
タンブラー、水筒	現地製品は質がよくない上に高いので、コーヒーやお茶がお好きな方はお持ちになると便利です。	

VIII. フィリピンへの荷物の送り方

荷物が多く持ち運びが大変な場合は、当校に送付していただくことも可能です。日本にいるご家族の方やお友達から荷物を送ってもらう際にも同じ流れとなります。

《荷物の送付手順》

- ① 配送業者を選ぶ(TECHNO HI、TRANS TECH、FedEx、DHL など)
※日本の郵便局からEMS 発送は、不着や大幅な遅延がございますので民間業者をお勧めします
- ② 配送業者に連絡し、重量・料金・日数などを確認したうえで最寄りの営業所へ持ち込む(もしくは集荷を依頼)。
- ③ 業者ごとに問い合わせ番号があるので、ウェブサイトから番号追跡し、到着を確認。

送料が比較的安い業者

- TECHNO HI <http://www.technohi.com/jp/barkada/index.html>
<http://www.technohi.com/jp/doortodoor/index.html>
- TRANS TECH <http://www.balikbayanbox.jp/japanese.html>

《送り状の書き方》

以下の住所を記載し、受取人(自分宛なら自分)の名前を記入。

山田虎太郎さんに送る場合。

住所: Jocson College, 1st St. Balibago, Angeles City, Pampanga, Philippines

郵便番号: 2009

電話番号: +63 (0)921 318 1245

名前: Mr. Torataro Yamada

《送れないもの》

- ・現金、キャッシュカード、クレジットカード、貴金属類など
- ・生鮮食品、肉類、偽りの医薬品など
- ・爆発性、発火性の固体・液体類
- ・刃物や麻薬類

※詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.post.japanpost.jp/int/question/goods.html>

問い合わせ番号 FedEX:0120-0032-00(携帯電話からは 043-298-1919)

DHL:0120-39-2580(PHS、携帯電話からも利用可能)

IX. 日本への荷物の送り方

国際郵便もしくは民間会社を利用しての送付することが可能です。フィリピンの郵便局は対応が悪く、民間の輸送サービスのご利用をお薦めしております。

《民間企業の場合》

営業所にて個人で配送手配をします。

FedEx(航空便)…到着所要日数 1~2 日間。税関の状況によっては 2~3 日間。

料金 1kg:1,727 ペソ(≒ 3,500 円)

3kg:2,318 ペソ(≒ 4,500 円)

5kg:2,954 ペソ(≒ 6,000 円)

10kg:4,318 ペソ(≒ 8,500 円)

15kg:5,408 ペソ(≒11,000 円) ※重量制限なし。

DHL(航空便)…FedEx とほぼ同じです。

《郵便局の場合》 ※荷物の破損、到着遅延等が多くございますのでご注意ください。

パッキングした荷物をもって郵便局へ行き、手配します。

- ・EMS(航空便)…到着所要日数 3~5 日間。税関の対応により大きく変動します。

料金 1kg:1,059 ペソ(≒ 2,000 円)

3kg:1,923 ペソ(≒ 4,000 円)

5kg:2,787 ペソ(≒ 5,500 円)

10kg:4,947 ペソ(≒10,000 円)

15kg:7,107 ペソ(≒14,000 円)

20kg:9,136 ペソ(≒18,000 円) ※20kg 以上の受付不可。手紙等は 100 円程度。

- ・船便…到着所要日数約1カ月。EMS より割安ですが、乱暴に扱われることがありますので壊れる可能性のあるものは入れないようご注意ください。

X. 現地での各種試験の受験(TOEIC、TOEFL、IELTS)

受験方法等は、必ずウェブサイトでご確認ください。

《TOEIC》…受験可能地域:クラーク、マニラ、セブ、バギオ、ダバオ

- ① TOEIC フィリピンサイトで受きたいテストのスケジュールを調べる
- ② 受験テストを指定してフォームから申し込む
- ③ BDO の支店に行き、Cash Deposit Slip を使い指定口座にテスト料金を支払う(結果を日本に郵送希望の際には別途料金が必要)
- ④ BDO での支払い控え、証明写真(5cm×5cm)、パスポートの写真のあるページをデジカメ等で撮影し、それらを添付ファイルで TOEIC オフィスへメール(info@toeic-phil.com)します。
- ⑤ 受付確認のメールが送られてきます。
- ⑥ 受験当日は、受付確認メールを印刷したものとパスポート、支払いの際に受け取った控えを持参し指定会場にて受験します。
- ⑦ 国内での郵送の場合、次の水曜日頃には試験結果が届きます。

《TOEFL》…受験可能地域:クラーク、マニラ、セブ、バギオ、ダバオ、バコロド

ウェブサイトより申し込みます。Location はフィリピンを選択します。

費用は 200USD、クレジットカード利用可能です。

問い合わせ番号は、+63-2-892-0383 です。

《IELTS》…受験可能地域:マニラ、セブ、バギオ、ダバオ、バコロド、イロイロ

マニラの IDP センター(+63-2-816-0755)にて受付を行います。

受験費用は 8,460 ペソ、試験開催日は毎月第 4 土曜日です。

お問い合わせ先

■クラークフィリピン留学院.

所在地: 1st St. Balibago, Angeles City, Pampanga, Philippines

(Jocson 大学併設)

電話番号: +63 (0)921 318 1245 (中野携帯)

(現地日本人スタッフの携帯電話番号です。日本語でどうぞ。)

■日本事務所

所在地: 東京都台東区台東1丁目38-9 イトーピア清洲橋通ビル5F

電話番号: 0120-914-012 / 080-2053-4914(芦田携帯)